

船舶事故等調査報告書

平成21年8月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009広第153号	
事故等種類	衝突（岸壁）	
発生日時	平成21年4月1日 16時05分ごろ	
発生場所	愛媛県新居浜市 新居浜港住友化学コールセンターK-4岸壁 (概位 北緯34°58.6′ 東経133°16.4′)	
事故等調査の経過	平成21年5月7日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 貨物船 ひうち2、2,636トン 140567、第一中央汽船株式会社</p> <p>B 貨物船 ^{だいえい}大栄丸、175トン 134878、龍王海運有限会社</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 船長、三級海技士（航海）</p> <p>B 不詳</p>	
死傷者等	なし	
損傷	<p>A バルバスバウに曲損</p> <p>B 右舷船尾部ブルワークに破口を伴う凹損 新居浜港住友化学コールセンターK-4岸壁 擦過傷</p>	
事故等の経過	<p>A船は、船長ほか5人が乗り組み、新居浜港住友化学コールセンターK-5岸壁（以下「K-5岸壁」という。）に向けて航行中、B船は、同港住友化学コールセンターK-4岸壁（以下「K-4岸壁」という。）に係留中、A船は、K-5岸壁に出船右舷着けするために左回頭を開始し、次第に風が強まる中、西からの強風の影響で、回頭を継続することが困難となり、エンジン、舵、スラスタを種々使用したが、風下に圧流され、平成21年4月1日16時05分ごろ、A船の船首がK-4岸壁のフェンダーに衝突し、その後B船の右舷船尾部のブルワークに衝突した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 西～西北西、風速 約12～15m/s、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 下げ潮初期</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>A船は、着岸作業中、回頭する際、風の影響を受けやすい船体の構造を考慮した操船を行わず、次第に風が強まる中、着岸を中止しなかったものと考えられる。</p> <p>A船では、気象条件による着岸の判断基準等を明文化しておらず、着岸岸壁に設置してある風速計の情報などを入手していなかった可能性があると考えられる。</p>

原因	本事故は、A船が強風を受けて新居浜港において着岸作業中、着岸を中止しなかったため、強風の影響で風下に圧流され、岸壁に衝突したことにより発生したものと考えられる。
備考	A船船舶所有者は、着岸の可否判断基準を明文化し、着岸岸壁の風速計の情報及びM I C O S 情報（日本気象協会、気象情報提供サービス）の入手を図るように指示した。